

健康被害

予防事業だより



No.43

目次

公害健康被害予防事業の概要	1	研修	6
平成23年度事業の内容	2	助成事業	7
事業費		ソフト3事業	
調査研究	3	施設等整備（助成）事業	
知識の普及	4	ソフト3事業効果測定	9
講習会		パンフレット等の作成及び情報提供	11
市民公開講座		ぜん息・COPDに関する相談	
アレルギーフォーラム		（ぜん息・COPD電話相談室）	
講演会			

公害健康被害予防事業の概要

公害健康被害予防事業は、大気汚染の影響による健康被害を予防するために実施しており、これにより地域住民の健康の確保を図ることを目的としています。公害健康被害予防事業を実施するために必要な費用は、事業者等から拠出された拠出金及び国からの出資金により基金を設け、その運用益により賄うこととされています。事業内容としては、ERCAが自ら行う事業（直轄事業）と地方公共団体が行うものに対し助成する事業（助成事業）からなっています。

なお、平成20年度より、環境省から自立支援型公害健康被害予防事業補助金が交付されています。

ERCA

ERCAとは、
Environmental Restoration and
Conservation Agency の頭文字を
取った環境再生保全機構の略称です。

大気汚染の原因となる物質を
排出する施設を設置する事業者

大気汚染に関連のある
事業活動を行う者

拠出

出資

国の財政上の措置

予防基金 約450億円

※東京大気汚染訴訟の和解条項に基づき、東京都が実施する公害健康被害予防事業に対して、平成20年度に510億円のうち60億円を取り崩して拠出しました。

公害健康被害予防事業

ERCAが自ら行う事業 （直轄事業）

- ◆調査研究
 - ・大気汚染による健康影響に関する総合的研究
 - ・局地的大気汚染対策に関する調査研究
- ◆知識の普及
 - ・講演会、講習会の開催
 - ・ホームページ、パンフレット等による情報提供
 - ・ぜん息・COPD電話相談室の運営
 - ・ぜん息児水泳記録会の開催 など
- ◆研修
 - 地方公共団体が行う公害健康被害予防事業の従事者等に対する研修

地方公共団体が行う事業に対する助成事業 （助成事業）

- ◆ソフト3事業
 - ・健康相談事業
医師・保健師等によるぜん息等に関する相談・指導
 - ・健康診査事業
乳幼児を対象とした問診等によるぜん息の発症予防のための指導
 - ・機能訓練事業
ぜん息児等を対象とした水泳訓練教室、音楽訓練教室、ぜん息キャンプ
- ◆計画作成事業
 - 地域の大气環境改善のための計画作成への助成
- ◆施設等整備（助成）事業 等
 - ・医療機器等整備（助成）事業
 - ・大気浄化植樹（助成）事業

自立支援型公害健康被害予防事業（平成20年度より実施）

国

補助金

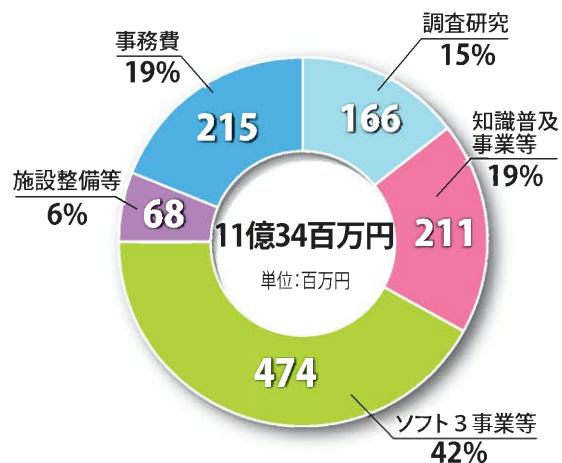
ERCA

ERCAが実施、地方公共団体が行う事業に対する助成

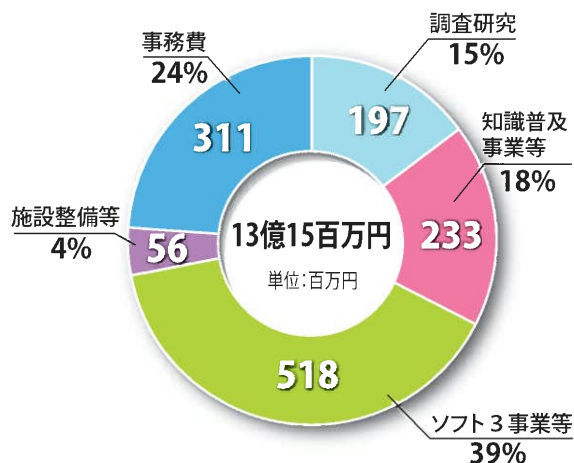
ぜん息患者等が日常生活の中でぜん息の予防、健康回復等を行うことを支援するための事業

事業費

○平成22年度事業実績額



○平成23年度事業計画額



平成23年度事業のポイント

①ソフト3事業等

地域住民のぜん息等の発症予防、健康回復に直接つながる事業に引き続き重点化を図る観点から、健康相談、健康診査及び機能訓練事業（ソフト3事業）を重点的に助成します。その際、環境省の自立支援型公害健康被害予防事業補助金（予算額2億円）も活用します。

また、平成22年度から開始したソフト3事業の実施効果の測定・把握のための本格調査を行うとともに、事業内容改善に向けた検討を進めていきます。

②知識の普及事業

健康相談、健康診査及び機能訓練事業（ソフト3事業）の実施に必要なパンフレットの作成、ぜん息専門医による講演会・講習会の開催、ぜん息・COPD電話相談等の事業を積極的に実施します。

また、平成22年度に実施した患者団体等へのヒアリングにより把握したニーズ（専門医への相談・交流機会の確保、就学期のぜん息患者のサポート、患者教育スタッフの養成、呼吸リハビリテーションを行う指導者の養成、COPDに対する認知度の向上・重症化の防止等）に対応した事業を実施します。

③調査研究

ぜん息等の発症予防、健康回復を図るための事業の根拠となる知見の確立及び事業実施基盤の強化、事業効果の適切な把握に係る課題の調査研究を実施します。

④大気環境の改善事業

局地的な大気汚染の改善を図る観点から、エコドライブ（環境にやさしい自動車運転）等の大気環境改善に資する施策の普及促進のため講演会・講習会等の事業を展開するとともに、調査研究を実施します。

調査研究

調査研究では、気管支ぜん息やCOPD等の発症・増悪の防止、健康回復のための知見を得るため「大気汚染による健康影響に関する総合的研究」を行っています。平成23年度は平成22年度に引き続き、第8期調査研究（16課題）を実施するとともに、新たに助成対象地域*における気管支ぜん息等の有症率とその動向の把握に関する調査研究（3課題）を開始しました。

* 公害健康被害予防事業助成金交付要綱別表第1に掲げる区域

●第8期調査研究（平成21年度～平成23年度）

No.	主任研究者（敬称略）	研究課題
分野① 小児・思春期を対象とした環境保健事業の事業実施効果の適切な把握及び事業内容の改善方法に関する調査研究		
1	小田嶋 博	健康相談事業の効果的な実践及び改善のための評価手法に関する調査研究
2	近藤 直実	気管支喘息のテラーメイドの予知に基づく発症予防法とQOL調査票を導入した独創的評価法の確立に関する調査研究
3	望月 博之	健康診査事業の効果的な実践及び改善のための評価手法に関する調査研究
4	宇理須 厚雄	ぜん息キャンプ・水泳訓練教室・音楽教室の効果的な実践及び改善のための評価手法に関する研究
5	新宅 治夫	喘息キャンプの効果的な実践及び改善のための評価手法に関する調査研究
6	大矢 幸弘	ぜん息患者の自立を支援する長期管理に関する調査研究
7	藤澤 隆夫	気道炎症評価にもとづく小児ぜん息患者の効果的な長期管理法と自己管理支援の確立に関する研究
分野② 気管支ぜん息患者の年齢階層毎の長期経過・予後を踏まえた健康相談、健康診査、機能訓練事業の事業内容の改善方法に関する調査研究		
8	秋山 一男	気管支ぜん息患者の年齢階層毎の長期経過・予後を踏まえた健康相談・健康診査・機能訓練事業の事業内容の改善方法に関する調査研究
分野③ ぜん息発症予防・健康回復のための知識の体系化に関する調査研究		
9	赤澤 晃	小児・思春期を対象とした健康相談・健康診査・機能訓練事業を効果的に実施するために事業従事者が有すべき知識の体系化に関する調査研究
10	灰田 美知子	成人を対象とした気管支喘息患者に対する効果的な保健指導(患者教育)の実践に関する調査研究
11	大林 浩幸	『喘息死ゼロ』実現に向けた、東濃地区における患者吸入指導一貫体制の整備とその効果検討
12	滝澤 始	ぜん息患者及び未発症成人における気道炎症病態と種々の要因とくに大気汚染状況との関連に関する調査研究
13	森 晶夫	吸入ステロイド薬服薬指導の実態と効果的な病薬連携、指導プログラムによる長期管理改善に関する研究
14	大田 健	成人を対象とした気管支喘息患者に対する効果的な保健指導の実践に関する調査研究
15	千住 秀明	COPD患者と公害認定患者に対する重症度別、簡便呼吸リハビリテーションプログラムの多施設間無作為比較試験に関する研究
16	一ノ瀬 正和	COPD患者における日常生活活動性の定量評価法の確立に関する調査研究

●助成対象地域における気管支ぜん息等の有症率とその動向の把握に関する調査研究（平成23年度～平成24年度）

No.	主任研究者（敬称略）	研究課題
1	小田嶋 博	小児気管支喘息の経年変化および地域差に関する研究
2	赤澤 晃	小児喘息の有症率とその動向に関する研究
3	谷口 正実	成人喘息の有症率とその動向に関する研究

また、局地的な大気汚染地域の大気汚染を改善するため、以下の3課題について研究を行っています。

No.	実施機関	研究課題
1	株式会社アスア	一般ユーザーに対するエコドライブの普及による大気汚染の改善手法に関する調査研究
2	株式会社数理計画	局地汚染地域における各種自動車排出ガス抑制対策効果評価手法の活用に関する調査研究
3	株式会社ブレック研究所	大気浄化植樹事業の効果の把握及び効果的推進のための調査研究

研究成果や評価結果の内容に関しては、今後E R C Aホームページ「ぜん息などの情報館」、「大気環境の情報館」にて掲載を予定しています。

知識の普及

ぜん息・COPDの予防等に関する講習会

ぜん息・COPD等の発症・悪化の防止、健康の回復等に関する適正な知識の普及を図ることを目的として、地域の保健指導従事者、養護教諭等教職員、保育士、医療従事者等の専門職の方を対象に、講習会を開催しています。平成23年度の実施状況は以下のとおりです。（平成22年度実績：15会場、参加人数延べ1,455人）

開催日	開催地域	テーマ
平成 23 年 6 月 7 日	川崎市	小児ぜん息の基礎知識とアトピー性皮膚炎の治療の基本
6 月 23 日	杉並区	学校におけるアナフィラキシーに備えて
6 月 28 日	川崎市	食物アレルギーへの対応と最新の治療について
7 月 29 日	千葉県	ぜん息等のアレルギー疾患の基礎知識と日常生活における支援方法
8 月 29 日	足立区	保育所におけるアレルギー児の対応
8 月 30 日	四日市市	保育所におけるアレルギー疾患への対応
12 月 4 日	吹田市	呼吸リハビリテーションに関する講演と実践
12 月 6 日	神奈川県	ぜん息等アレルギー性疾患治療の現状と日常生活における留意点について
12 月 19 日	大阪市	公害健康被害予防研修（成人ぜん息・COPD の病態と治療、小児ぜん息の病態と治療、小児食物アレルギーについて、アトピー性皮膚炎の基礎知識等）
平成 24 年 1 月 16 日	川崎市	ぜん息患者教育における効果的な指導のあり方
2 月 1 日	大阪市	専門医が教える!! 小児気管支ぜん息講演会 ～気管支ぜん息・食物アレルギーについて～
2 月 17 日	名古屋市	家庭でできる呼吸器リハビリの実践 ～COPD予防のために～
2 月 22 日	名古屋市	小児ぜん息と食物アレルギー
3 月 2 日	神奈川県	ぜん息、アトピー性皮膚炎、花粉症、食物アレルギーなどの最新の知識とその対応
3 月 4 日	静岡県	保育所におけるアレルギー対応ガイドライン ―食物アレルギー・気管支ぜん息を中心に―
3 月 6 日	神戸市	保育所におけるアレルギー対応ガイドラインについて
3 月 22 日	東大阪市	COPD の病態と治療について（予定）

市民公開講座

子どものぜん息等のアレルギー疾患でお悩みの方やそのご家族をはじめ、保育園や学校等の関係者の方々などを対象に、日本小児科学会、日本小児アレルギー学会との共催により、専門医によるぜん息等アレルギー疾患についての正しい知識、専門医との交流の機会を提供することを目的とした市民公開講座を開催しています。平成23年度の実施状況は、以下のとおりです。（平成22年度実績：参加人数161人）

開催日	開催地域	学会名
平成 23 年 7 月 31 日	東京	第 114 回日本小児科学会
平成 23 年 10 月 30 日	福岡	第 48 回日本小児アレルギー学会



ぜん息などのアレルギーをもつ児童・生徒のためのアレルギーフォーラム

ぜん息等アレルギーをもつ児童・生徒とそのご家族及び養護教諭等の教職員を対象として、疾患の予防・管理に関する知識を学ぶための「ぜん息・アレルギーフォーラム」を開催しています。

平成23年8月21日開催の東京会場ではぜん息等アレルギーに関する正しい知識や学校生活における留意点、「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」（財団法人日本学校保健会）の教育現場での更なる活用についての講義が行われました。

また、平成24年3月20日には、大阪会場を予定しています。



ぜん息・COPDの予防等に関する講演会

ぜん息・COPD等に関する知識の普及を図ることを目的として、患者の方やそのご家族の方を対象に、専門医等によるぜん息やCOPDに関する講演会を関係する地方公共団体との共催で開催しています。講演会では毎回、参加者から多数の質問が寄せられ、「またこのような講演会をぜひ実施してほしい」という声も多く聞かれます。



平成23年度の実施状況は以下のとおりです。（平成22年度実績：6会場、参加人数延べ789人）

開催	開催地域	テーマ
平成 23 年 9 月 8 日	富士市	ぜん息とアトピー性皮膚炎の対応について
9 月 23 日	横浜市	横浜市民呼吸器フォーラム せきと息切れ あなたの肺は大丈夫？
9 月 30 日	神奈川県	子どものアレルギーとぜん息 ～正しく知ろう！予防と治療～
10 月 22 日	四日市市	あなたのぜん息コントロールは十分ですか？ ～ぜん息専門医が教えます コツとポイント～
11 月 3 日	目黒区	乳幼児のぜん息・食物アレルギー最新線 ～アレルギーマーチの進行をとめるために～
11 月 29 日	千葉市	肺の生活習慣病 COPD ～中高年のたばこ病 COPD ～
12 月 13 日	東京都	小児アレルギーとの上手な付き合い方 ～ぜん息と食物アレルギーの正しい知識と対応法～
平成 24 年 1 月 14 日	四日市市	食物アレルギーの攻略法 ～正しい除去から食べて治す目標へ～
2 月 5 日	吹田市	子どもと大人のぜん息予防のための講演会
2 月 5 日	江東区	こどものぜん息・アトピー講演会 ～最新治療とスキンケアの実際～
2 月 13 日	杉並区	ぜん息・食物アレルギーの子どもを守る！ ～家庭での管理・学校との連携・緊急時の備え～
3 月 24 日	神戸市	小児のぜん息とアトピー性皮膚炎について

大気環境の改善に関する講演会・講習会

今年度から地域の大気環境の改善に係る知識の普及および大気環境にやさしい行動の促進を図ることを目的として、地方公共団体が推進するエコドライブ等の大気環境改善の施策に関する情報を、講演会・講習会を通じて提供しています。



平成23年度の実施状況は以下のとおりです。

<講演会>

開催日	開催地域
平成 23 年 11 月 4 日	名古屋市
11 月 16 日	神奈川県
11 月 18 日	大阪市
11 月 23 日	神戸市
11 月 24 日	神奈川県
11 月 28 日	〃
11 月 30 日	神戸市
12 月 5 日	三重県
12 月 6 日	〃
平成 24 年 2 月 8 日	北九州市
2 月 13 日	名古屋市

<講習会>

開催日	開催地域
平成 23 年 11 月 2 日、12 日	倉敷市
12 月 16 日	北九州市
12 月 20 日	大阪市
平成 24 年 1 月 23 日、24 日	葛飾区



研修

地方公共団体の職員等を対象とした研修

公害健康被害予防事業に従事する地方公共団体の職員等を対象にぜん息・COPDに関する最新の知識などを提供し、事業を効果的に実施するための人材を育成しています。

平成23年度の実施状況は以下のとおりです。（平成22年度実績：参加人数延べ346人）

コース名	開催日	コース説明
初任者研修(小児)	平成 23 年 6 月 9 日	ソフト 3 事業（詳細 7、8 ページ）に従事する初任者の事務担当者や保健師等を対象とした、事業の実施に必要な医学的基礎知識、事業実施方法等を習得するための研修。
(成人)	平成 23 年 6 月 10 日	
機能訓練研修(水泳教室)	平成 23 年 6 月 22 日～ 24 日	機能訓練事業（詳細 8 ページ）に従事する事務担当者や保健師、指導員等を対象とした、実習や事例紹介を通じて事業の実施に必要な医学的知識や技術、効果的な事業実施方法等を習得するための研修。
(ぜん息キャンプ)	平成 23 年 7 月 6 日～ 8 日	
(体験型)	平成 23 年 8 月 26 日～ 28 日	
保健指導研修(小児)	平成 23 年 9 月 7 日～ 9 日	ソフト 3 事業に従事する保健師や栄養士等を対象として、講義や実習を通じて患者への保健指導に必要な専門知識や指導方法等を習得するための研修。
(成人)	平成 23 年 10 月 5 日～ 7 日	
フォローアップ研修	平成 23 年 11 月 10 日～ 11 日	ソフト 3 事業の中から毎年度テーマを設定し、そのテーマについての講義、地方公共団体のディスカッションを通じて、効果的、効率的な事業の実施に必要な知識、技術等を習得するための研修。（平成23年度はソフト 3 事業や地域におけるぜん息・COPD 患者への訓練指導をテーマとして実施。）
環境改善研修	平成 24 年 1 月 19 日～ 20 日	地方公共団体で大気環境改善施策に従事する担当者等を対象とした、環境行政や自動車環境対策等の大気環境改善施策に関する知識や技術等を習得するための研修。
大気浄化植樹研修	平成 24 年 2 月 17 日	地方公共団体で大気環境改善施策に従事する担当者等を対象とし、公害健康被害予防事業の概要や樹木による大気環境改善総論等、大気浄化植樹事業の実施に関する知識や技術等を習得するための研修。

呼吸リハビリテーション指導者養成研修

公害健康被害予防事業対象地域において、COPD患者の療養指導に携わる理学療養士等を対象に、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会が主催する「呼吸リハビリテーション研修会」に研修生を派遣し、地域での呼吸リハビリテーションの普及を図ることを目的とした呼吸リハビリテーション指導者養成研修を開催しています。

平成23年度は、平成24年3月3日～4日に千葉県で実施。

（平成22年度実績：参加人数19人）



ぜん息患者教育スタッフ養成研修

地方公共団体の保健師、看護師、地域のコメディカルスタッフ等を対象に、ぜん息の治療・管理に係る患者教育スタッフの養成を推進し、患者の自己管理支援体制の充実を図ることを目的とし、ぜん息患者教育スタッフ養成研修を開催しています。

平成23年度は、平成24年2月9日～10日に東京会場で、平成24年2月23日～24日に大阪会場で実施。

（平成22年度実績：参加人数71人）



■ ソフト3事業（健康相談・健康診査・機能訓練事業）

＜健康相談事業＞

健康相談事業では、医師・保健師・栄養士等を確保し、地域住民の方々のぜん息等に関する相談事業を行います。相談方法としては、講演会、実技指導、個別相談、家庭訪問指導等があります。また、相談以外にも気管支の状態を客観的に把握することができるピークフローメーターの支給又は貸与、ぜん息薬の吸入を補助するネブライザーの貸与なども行っています。

公害健康被害予防事業	
基金事業	自立支援型公害健康被害予防事業
<ul style="list-style-type: none"> ● 集団相談 ● 集団による健康教室等 	<ul style="list-style-type: none"> ● 個別相談 ● 家庭訪問指導 ● ネブライザーの貸与 ● ピークフローメーターの支給又は貸与

【事業規模】

年度	事業実施自治体数	相談参加者数（人）	家庭訪問指導者数（人）	ピークフローメーター（個）	ネブライザー（台）
H 23 年度（予定）	43	12,563	648	140	100
H 22 年度（実績）	43	8,978	381	100	100

【事業費（平成23年度）】

63,448 千円（平成 22 年度実績：50,216 千円）

＜健康診査事業＞

健康診査事業では、乳幼児健診の機会などを利用し、保健師・医師等の問診・診察等により児のアレルギー症状の有無等の把握を行います。

ぜん息の発症リスクが高い児については、発症予防のための適切な指導等を行っています。

基金事業	自立支援型公害健康被害予防事業
<ul style="list-style-type: none"> ● 健康診査 ● 血液検査 	<ul style="list-style-type: none"> ● 健康診査により把握されたリスク児に対する指導 ● ネブライザーの貸与 ● ピークフローメーターの支給又は貸与

【事業規模】

年度	事業実施自治体数	指導対象リスク児スクリーニング者数（人）	血液検査受診者数（人）
H 23 年度（予定）	26	158,637	752
H 22 年度（実績）	26	166,097	529

【事業費（平成23年度）】

166,108 千円（平成 22 年度実績：147,769 千円）

<機能訓練事業（水泳訓練教室、音楽訓練教室、ぜん息キャンプ）>

機能訓練事業では、ぜん息患者の体力向上、日常生活における自己管理を支援すること等を目的として、医師の健康管理のもと、水泳訓練、腹式呼吸を習得するための吹奏楽器等を用いた音楽訓練、療養生活上の指導を行い、ぜん息の理解を深め自己管理を身につけるためのぜん息キャンプを行っています。

公害健康被害予防事業	
基金事業	自立支援型公害健康被害予防事業
●15歳未満の者に対する水泳訓練教室、音楽訓練教室、ぜん息キャンプ	●15歳以上の者に対する水泳訓練教室、音楽訓練教室 ●自己管理説明会、個別指導 ●ネブライザーの貸与 ●ピークフローメーターの支給又は貸与

【事業規模】

年度	水泳教室		音楽訓練教室		ぜん息キャンプ	
	事業実施自治体数	参加者（人）	事業実施自治体数	参加者（人）	事業実施自治体数	参加者（人）
H23年度（予定）	36	43,412	12	1,105	26	4,888
H22年度（実績）	35	29,347	11	552	24	4,166

【事業費（平成23年度）】

281,707千円（平成22年度実績：240,408千円）

施設等整備（助成）事業

<大気浄化植樹（助成）事業>

大気浄化植樹（助成）事業では、植物の大気浄化能力に着目して、大気浄化能力を有する植栽の整備への助成を行っています。助成には以下の「大気浄化植樹事業」と「大気浄化植樹助成事業」の2種類があります。

大気浄化植樹事業は、昭和63年度から平成22年度までに全体で約163,000㎡、約450箇所で行われました。

①大気浄化植樹事業

地方公共団体が行う、植栽の整備への助成。学校、住宅、病院、老人ホーム、保育園、公民館等の敷地内で行う植栽の整備を対象とする。

②大気浄化植樹助成事業

民間事業者等が行う、植栽の整備に対する地方公共団体の助成を対象とする。



植樹前



植樹後

ソフト3事業効果測定

ソフト3事業効果測定

ソフト3事業（詳細7～8ページ参照）において、事業の実施効果の適切な測定・把握のための本格調査を実施しました。平成22年度本格調査の結果から、事業参加前後の比較において、薬の使い方や環境整備に気を配るなど治療への取り組みの変化、学校等の欠席や行事不参加の減少及び症状の軽減等の事業実施効果が確認されました。

実施の背景

独立行政法人環境再生保全機構発足（平成16年4月1日）

引き続き、公害健康被害予防事業を実施

独立行政法人整理合理化計画
閣議決定（平成19年12月）

定量的な指標による事業実施効果の測定及び把握に努め、客観的データに基づいた事業の評価・分析を行うこと、及びその結果を踏まえた事業内容の改善を行うことが必要

機構の取組

次期中期目標期間に向け、定量的な指標により事業実施効果の測定及び把握を行うための評価手法を検討

ソフト3事業の事業効果の把握手法 → 事業効果に関する質問票調査等

ソフト3事業の事業効果把握調査の試行（平成21年度）

ソフト3事業の事業効果把握調査の本格実施（平成22年度以降継続）

事業効果の評価・分析、事業内容改善の検討（平成23年度）

平成16年度目標期間

平成21年度目標期間

調査方法

ソフト3事業を実施している地方公共団体を通じ、事業参加者への質問票の配布・回収を行いました。調査の種類は事業終了時に参加者の変化等を把握する「事後調査」と、事業終了後数ヶ月後の変化を把握する「追跡調査」の2種類の調査を実施しました。

配布・回収方法については、地方公共団体それぞれの状況に応じ、手渡しや郵送など任意の方法を選択してもらいました。

調査項目

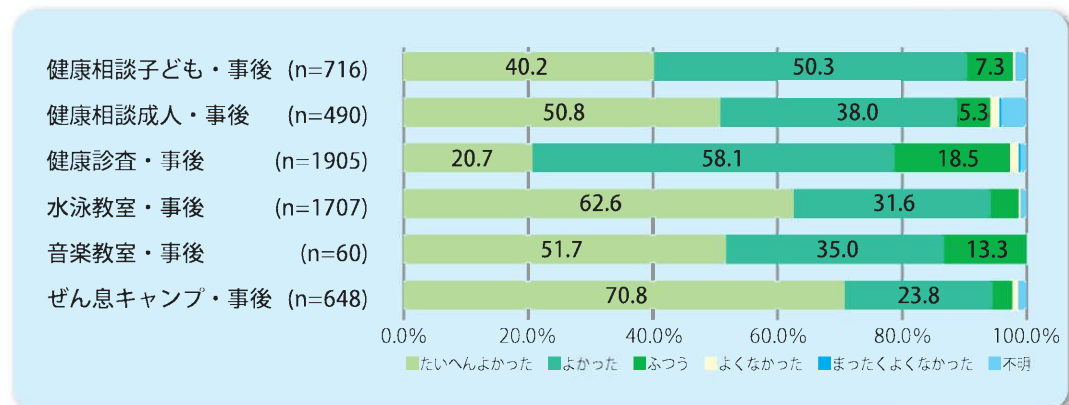
調査期間：平成22年5月～平成23年5月

- ① 回答者の基本属性……………年齢、性別、過去の参加経験、他事業への参加状況
- ② 参加者による事業評価……………参加した事業に対する5段階評価
- ③ 行動変容……………事業参加によって、ぜん息症状の改善に向けた本人や家族の意識、取り組みの変化が見られたか否かを評価
- ④ 知識の普及・気づき……………参加者への知識の普及、気づきの有無の度合いを評価
- ⑤ QOL……………本人や家族のQOLの変化を評価
- ⑥ 症状の変化……………事業参加前と現在の症状を比較し、改善状況を評価

参加した満足度

事業に参加した満足度を、「たいへんよかった」「よかった」「ふつう」「よくなかった」「まったくよくなかった」の5段階評価で把握しました。

5段階評価のうち上位2位、「たいへんよかった」と「よかった」の計の比率をみると、健康相談と機能訓練事業はいずれも85%以上となりました。



健康相談事業・健康診査事業に参加してよかったと思ったこと（複数回答）

健康相談事業・健康診査事業において、「参加者が、事業に参加してよかったと思ったこと」を把握しました。各事業の参加者が選んだ上位3位は次の通りです。

	健康相談（子ども）（n=716）	健康相談（成人）（n=490）	健康診査（n=1905）
1位	ぜん息やアレルギーなどの知識を深めることができた（73.3%）	症状の予防や改善に向けて、今後役に立つことを知ることができた（62.7%）	ぜん息やアレルギーなどの知識を深めることができた（66.3%）
2位	症状の予防や改善に向けて、今後役に立つことを知ることができた（56.1%）	ぜん息やアレルギーなどの知識を深めることができた（62.4%）	症状の予防や改善に向けて、今後役に立つことを知ることができた（49.0%）
3位	医師や保健師・栄養士などの話がわかりやすかった（39.0%）	聞きたかったことを十分に聞くことができた（47.3%）	医師や保健師・栄養士などのアドバイスを受けることができた（47.8%）

機能訓練事業参加後、取り組むようになったこと

機能訓練事業（水泳教室、音楽教室、ぜん息キャンプ）において、「参加者が、事業に参加したことにより、取り組むようになったこと」を把握しました。各事業の上位3位は次の通りです。

	水泳教室（n=1707）	音楽教室（n=60）	ぜん息キャンプ（n=648）
1位	自分の体調管理に気を配る（49.9%）	腹式呼吸を行う（53.3%）	ぜん息に対し関心を持つ（57.7%）
2位	ぜん息に対し関心を持つ（47.0%）	ピークフロー日誌をつける（50.0%）	自分の体調管理に気を配る（53.9%）
3位	（家族が）環境の整備に気をつける（41.7%）	ぜん息に対し関心を持つ（48.3%）	薬の名前を言える（39.2%）

パンフレット等の作成及び情報提供

ソフト3事業（健康相談、健康診査及び機能訓練事業）の実施に必要なパンフレット等を作成し、地方公共団体等の協力を得て広く地域住民等に提供しています。また、ぜん息等の最新情報を盛り込んだ定期刊行誌「すこやかライフ」（春、秋発行）及び健康管理カレンダーも作成しています。

＜新刊パンフレットのご案内＞



すこやかライフ No.38

ぜん息と慢性閉塞性肺疾患の方向けに最新情報を掲載している生活情報誌です。その他著名人へのインタビューやQ & Aのコーナーもあります。

仕様：A4判 25ページ

発行：平成23年9月



エコドライブのすすめ！

エコドライブによる大気汚染物質の排出削減効果

自動車を運転される方向けに、エコドライブによる大気汚染物質の排出低減効果について分かりやすくまとめたパンフレットです。

平成20・21年度に実施した調査研究の結果を基にしています。

仕様：A4判 12ページ

発行：平成23年3月



放っておくとコワイ肺の生活習慣病COPD

COPDの症状や治療、どんな方がCOPDになるリスクがあるのか等について一般の方向けにわかりやすく紹介したリーフレットです。

仕様：A4判 2ページ

発行：平成23年10月

パンフレット等のお申し込み・お問い合わせについて

ERCAでは、パンフレット等の無料提供、各種パネルやビデオ・DVD・CD等の貸し出しを行っています。

お申し込みはお電話（平日9:00～18:00）、FAXまたはホームページから受け付けています。お気軽にお問い合わせ下さい。

電話でのお申し込み

TEL **044-520-9568**

FAXでのお申し込み

FAX **044-520-2134**

ぜん息・COPDのパンフレットは「ぜん息などの情報館」から

ホームページでのお申し込み

<http://www.erca.go.jp/asthma2>

大気環境・エコドライブのパンフレットは「大気環境の情報館」から

<http://www.erca.go.jp/taiki/>

[ぜん息などの情報館](#)

[大気環境の情報館](#)

[検索](#)

ぜん息・COPDに関する相談

＜ぜん息・COPD電話相談室＞

患者やご家族の方が抱える不安や疑問の解消、治療意欲の向上の支援を目的として、ぜん息患者等からの相談等に対し、専門医、看護師が専門的、実践的な助言を提供する電話相談を実施しています。

（こぎゅうはい～よ）

フリーダイヤル

0120-598014 〈月～金（祝日を除く）9:00～17:00〉

FAXでの相談

0120-598099

ぜん息・COPD電話相談Webページ（ぜん息などの情報館内）

ホームページ（メールでの相談）

<http://erca.go.jp/asthma2/tel/tel.html>

[ぜん息電話相談室](#)

[検索](#)